

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート第 75 号』

「働くママの気持ちと職場の理解」

———109 人の働くママに聞きました———

森永乳業は、時代とともに変化する母親像の理解に役立つことを願い、1993 年 4 月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」*への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

「エンゼル 110 番」は、本年 5 月に開設から 40 周年を迎えました。この 40 年間でも、女性の社会進出が進み、結婚・出産をしても働き続ける女性が増えています。様々な子育て支援に関する制度が整えられていますが、働くママたちの実情はどうなのでしょう？ そこで、今回は「働くママの気持ちと職場の理解」に関するアンケートを実施しました。

【主なアンケート結果】

- 妊娠中、職場の理解が「あった」人は約 70%
- うれしかったことは「言葉での気遣い」や「重いものを持ったり、立ち仕事などを代わってくれた」こと
- 傷ついたことは「つらい発言があった」が最多
- 職場復帰に不安が「あった」人は約 80%
- 不安の要素は「仕事、家事、育児の両立」「急な早退や休みによる仕事への影響・周囲への迷惑」

* エンゼル 110 番とは…

1970 年代は、高度成長期に核家族が急増し、育児環境が大きく変化した時代でした。その社会状況を背景に「子育て奮闘中のお母さんたちのお役に立ちたい」という思いから、**1975 年 5 月に、無料の育児相談窓口『エンゼル 110 番』を開設**しました。今までにお受けした電話相談は 90 万件を超えました(2015 年 1 月時点)。相談内容は、「何をどれだけ食べさせればよいか」といった“食生活”や「子どもを育てる自信がない」といった“相談者自身”に関してなど多岐に渡ります。相談員は、不安・悩み・疑問を抱えた方たちの話を聴き、一緒に考えることで育児の不安を取り除くことを基本姿勢としています。

また、2014 年 4 月からは、フリーダイヤル化し、より気軽にご相談いただけるようになりました。

◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象	妊娠中～小学校就学前まで
相談員数	19 名(保健師、管理栄養士、心理相談員 等)
ウェブサイト	http://www.angel110.jp/

本件・バックナンバーに関するお問い合わせ先

<報道関係者からのお問い合わせ先>

森永乳業株式会社 広報部 高橋 TEL03-3798-0126

<お客さまからのお問い合わせ先>

育児に関する無料電話相談「森永乳業エンゼル 110 番」フリーダイヤル 0800-5555-110

※受付時間:月～土曜日(日曜、祝日除く)、10～14 時

<エンゼル 110 番ウェブサイト> <http://www.angel110.jp/>

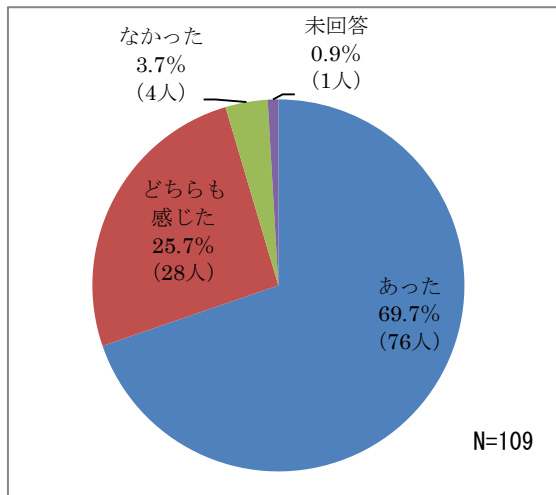
エンゼル 110 番レポート VOL.75

今回のテーマ 「 働くママの気持ちと職場の理解 」

ー109 人の働くママに聞きましたー

妊娠中、職場の理解が「あった」人は約 70%

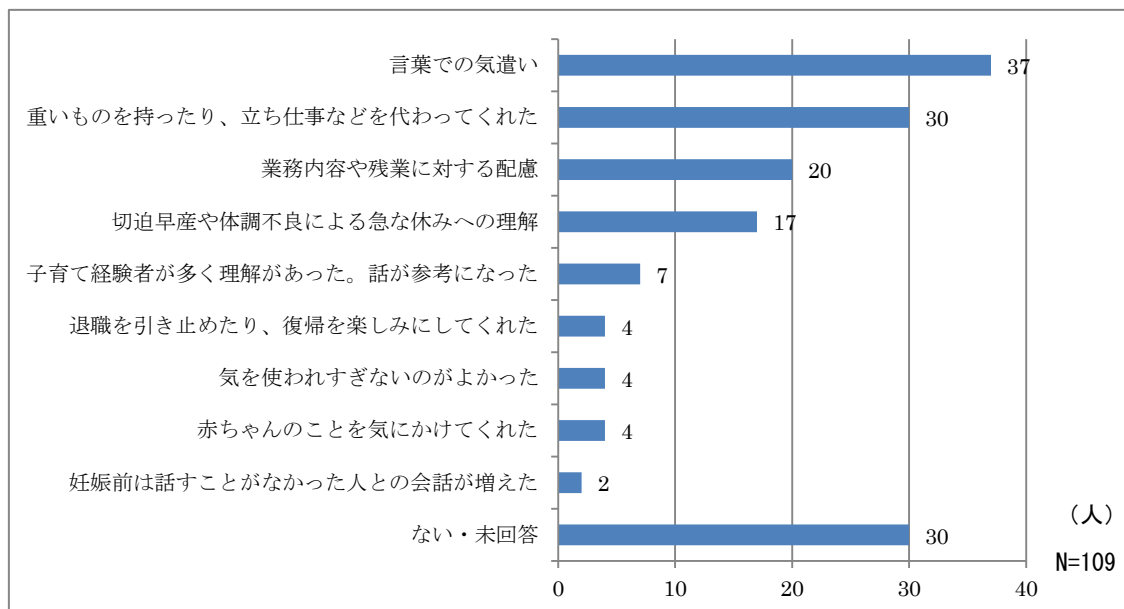
Q1-1. 妊娠中、職場の理解はありますか？ または、ありましたか？



妊娠中に職場の理解が「あった」と答えた方は 76 人、「なかった」と答えた方は 4 人と、全体的に職場の理解は「あった」と感じた方が多い結果となりました。また、理解がある、ない「どちらも感じた」方も、28 人いました。

うれしく感じたことは「言葉での気遣い」や「重いものを持ったり、立ち仕事などを代わってくれた」

Q1-2. 妊娠中、職場でうれしかったことは？（複数回答）



妊娠中、職場でうれしかったことは、「残業をする時は、『体調は大丈夫？』とまず確認してくれた (40 歳・フルタイム)」「赤ちゃんのことを守れるのはお母さんだから、仕事より体優先でいいよ (31 歳・フルタイム)」など、「言葉での気遣い」が最も多く聞かれました。

次いで、「技術職なので重いものを持つことも多いが、男性が代わりに持ってくれた(37 歳・フルタイム)」「一番下っ端なので、荷物を運ぶ仕事が多かったが、先輩が他の人に『持ってあげて』と指示してくれた(22 歳・フルタイム)」など、「重いものを持ったり、立ち仕事などを代わってくれた」が挙げられました。

さらに、「引き継ぎを早めに行ってくれたので、急に休まなければならない事態に対しても、気持ちにゆとりを持つことができた(31 歳・フルタイム)」などの「業務内容や残業に対する配慮」、「切迫早産で入院した。自宅療養したあと復帰した時、一番に『無理なくていいよ』と言ってもらえうれしかった(36 歳・フルタイム)」などの「切迫早産や体調不良による急な休みへの理解」が続きました。

「エンゼル 110 番」の電話アンケートでは特に、「職場の理解があった」と感じている方が多くいらっしゃいました。子育てをしながら働く女性が増え、妊娠中の人に気遣いのある職場が増えているのかもしれません。

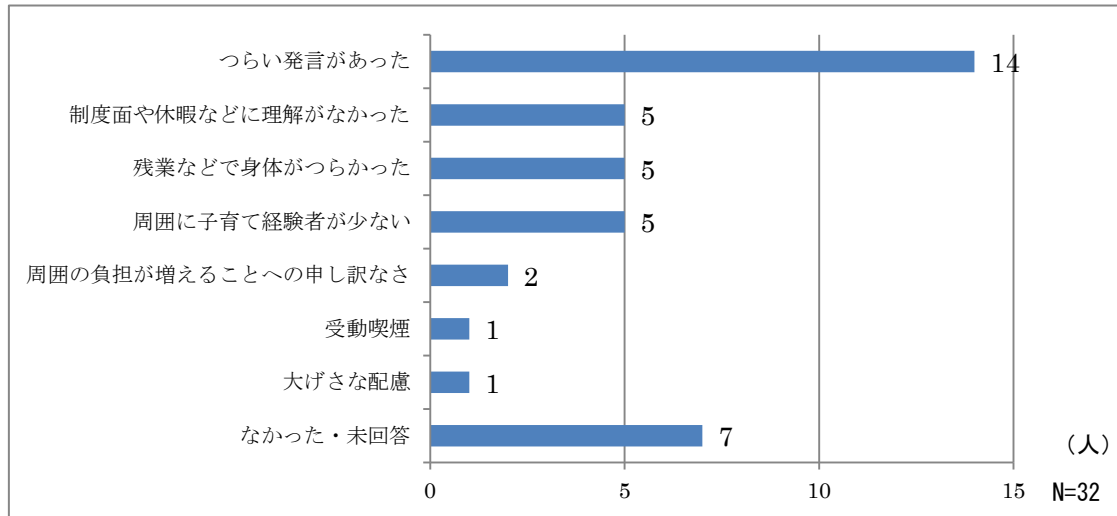
【HOT VOICE】

- ・ 「身体を大事にしろよ」「無理しないで」といろいろな人から声をかけてもらった。(複数)
- ・ 力仕事や立ち仕事はなるべく回避させてくれたり、体調不良で休まざるを得ない時にもサポートしてくれて本当にありがたかった。(34 歳・フルタイム)
- ・ 体調を気遣ってもらえ、仕事の引き継ぎプランを一緒に考えてもらえた。産んだらまた戻ってくことを前提に話してくれた。(33 歳・フルタイム)
- ・ つわりがひどかった時、あれこれ言わずそっと見守ってくれた。(33 歳・フルタイム)
- ・ 女性の同僚で子どもがいる人が「今何ヵ月？」とよく気にかけてくれた。女性が多い職場で理解があり、上司が育休をとって子育てしてきた人が多く、やさしく気遣いがあった。(33 歳・フルタイム)
- ・ 派遣で契約の切れ目なので退職したが、つわりで体調が悪い時は休めた。(29 歳・派遣)
- ・ 力仕事があったが、「絶対にするな、人に頼みなさい」と言ってくれた。なかなか子どもができなかったので、みんなが「おめでとう」と言ってくれてうれしかった。(29 歳・パート)

傷ついたことは「つらい発言があった」が最多

Q1-3. 妊娠中、職場でつらかったことを具体的に教えてください。

(Q1-1. で「どちらも感じた」「なかった」と答えた方のみ) (複数回答)



妊娠中、職場でつらかったこととしては、約半数の人が「つらい発言があった」を挙げました。中には、「仕事を頼もうとしてちょっと声をかけてから、『妊娠してるから、だめかあ』とわざとらしく言われるのがつらかった (33 歳・パート)」「体調が悪く休むと良い顔をされず、『だったら辞めればいいのに』と陰で言われた (29 歳・パート)」など、厳しい発言を受けたという方もいました。

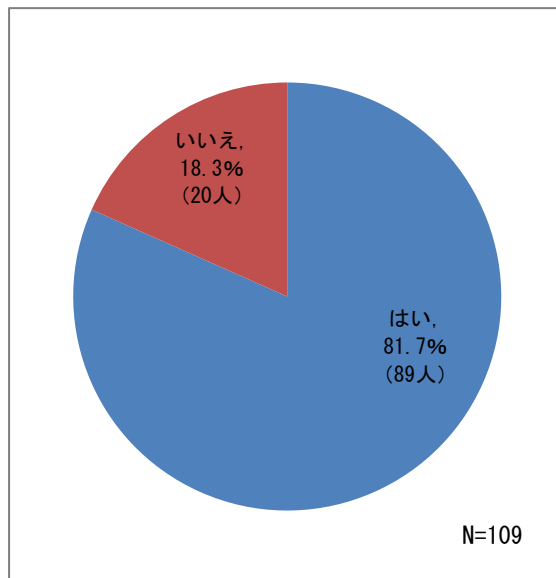
次いで、「制度面や休暇などに理解がなかった」「残業などで身体がつらかった」「周囲に子育て経験者が少ない」が同数で続きました。

【HOT VOICE】

- ・管理職の男性に「年度の途中で復職するのはやめてね」と言われた。妊娠中、補助の人をなかなかつけてもらえなかった。かなり我慢してから、補助の人をつけてほしいと言ったのに、先輩ママの女性から「私たちの時はなかった」と言われた。(32 歳・フルタイム)
- ・早いうちに妊娠を報告したら、みんなに言われてしまった。まだ流産の危険がある時期だったから、言ってほしくなかった。(29 歳・フルタイム)
- ・忙しい職場ということもあり、妊娠したことを上司に伝えた時、あまり祝福されていないと感じた。(28 歳・フルタイム)
- ・つわりで体調不良の時、男性上司に「つわりは病気ではないからね」と言われた。(39 歳・フルタイム)
- ・嫌味などは言われていないが、長時間勤務や残業があり、身体がつらかった。結局妊娠 4 ヶ月で身体が持たず退職した。(30 歳・派遣)
- ・人間関係は良好で仕事も好き。復帰したかったが、契約社員は産休はあるが育休は認められなかった。育休はとらないとして復帰を希望し、上司が会社にかけてくれたが、認められず退職した。(31 歳・契約)
- ・周囲の仕事がまわっていない様子が分かったので、申し訳なく感じた。(29 歳・フルタイム)
- ・何かを言われたわけではないが、自分だけ残業しないで帰っていたので気まずかった。(22 歳・フルタイム)

約 80%の人が育休を取得

Q2-1. 現在、育休中ですか？ または、育休をとりましたか？

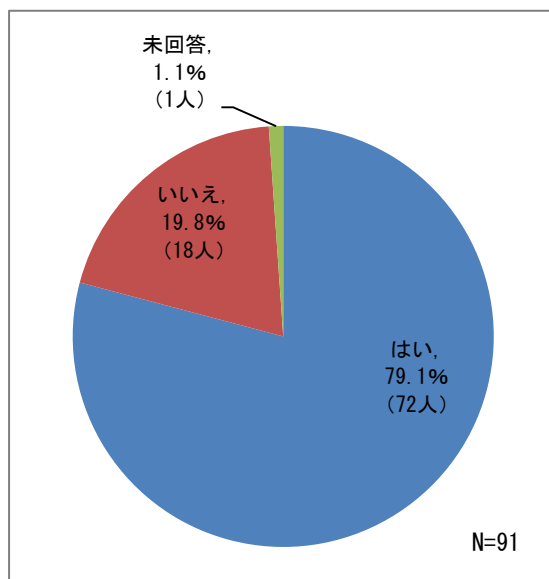


育休を取得中の人と取得した人は合計 89 人で、約 80%が取得しています。育休を取得していない人は 20 人で、そのうち 18 人は退職、2 人は育休を取得せずに復帰したそうです。

職場復帰に不安が「あった」人は約 80%

Q2-2. 職場復帰に不安はありますか？ または、ありましたか？

(Q2-1. で「はい」と答えた方と育休を取得せずに復帰した方のみ)



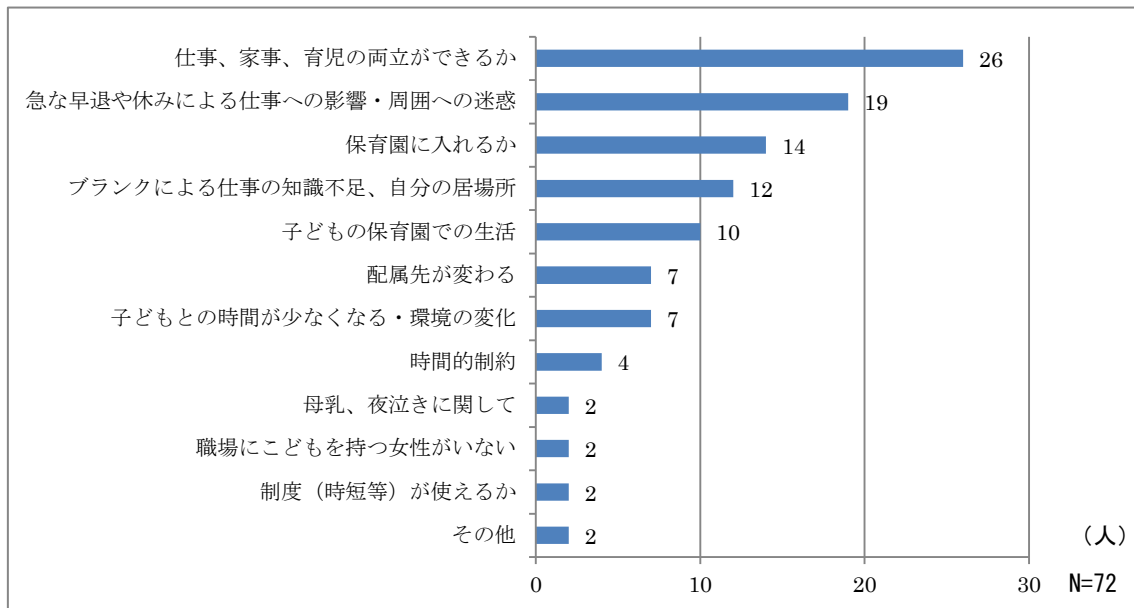
職場復帰に「不安がある」人と「不安があった」人は合計 72 人で、約 80%が「不安がある」「不安があった」と回答しています。

不安の要素は

「仕事、家事、育児の両立ができるか」「急な早退や休みによる仕事への影響・周囲への迷惑」

Q2-3. どんな不安がありますか？ または、ありましたか？

(Q2-2. で「はい」と答えた方のみ) (複数回答)



職場復帰に「不安がある」「不安があった」と回答した人に、具体的にどんな不安かを聞いたところ、「仕事、家事、育児の両立ができるか」が最も多く、次いで「子どもの発熱等で保育園から呼び出しがあったり、何日も休まなければいけない状態になった時、職場の理解が得られるか(34歳・フルタイム)」「復帰後1年は特に感染症にかかりやすかったり、発熱しやすいと聞いていたので、チームのメンバーに負担をかけないか心配だった(34歳・フルタイム)」などの「急な早退や休みによる仕事への影響・周囲への迷惑」が挙がりました。

3番目に多かったのは「保育園に入れるか」で、現代の保育園事情の厳しさが伺えます。

また、「1年間休んだ後、自分の居場所があるか。自分の仕事を他の人が担当しているはずなので(37歳・フルタイム)」「専門職で、現場を離れると色々なことがアップデートできていない。今は使い物にならないので、周りが困るのではないかと(年齢不明・フルタイム)」など、「ブランクによる仕事の知識不足、自分の居場所」を不安に思う声も多く聞かれました。

その他では、「時短等の制度を利用するとほぼ収入がなくなるため、女性は時期がくると辞める方ばかりの状況です(36歳・非常勤)」「病気の際の預け先がなく不安(39歳・フルタイム)」という声がありました。

また、「配属先が変わること」への不安の声もありましたが、復職先が新しい環境になるのは、ただでさえ不安な復職に輪をかけてしまうのかもしれませんが。困った時に困ったと言える職場なのか、周囲の理解は得られるのかなど、妊娠する前からコミュニケーションが取れているかどうかは子育てをしながら働く方にとって大事な要素です。

【HOT VOICE】

- ・当初は育休を期間いっぱいまで取得しようかとも考えていたが、仕事がなくなってしまふのではと思い、早めに戻ることにした。子どもという時間が少なくなるので不安。(31 歳・フルタイム)
- ・子育てと仕事の両立に、時間的制約があるのが不安。また、子どもが病気で休むなどの急な対応に、周囲に迷惑をかけてしまう。(33 歳・フルタイム)
- ・派遣なので、同じ場所には戻れない。新しい職場が不安。(37 歳・派遣)
- ・風邪、熱がでたらどうしよう。会社に迷惑をかけることが一番心配。(33 歳・フルタイム)
- ・保育園に預けることで子どもが心配。休むことも増えると思うが、職場の理解が得られるか心配。(29 歳・フルタイム)
- ・保育園に入れるのか、入れたとしても通わせやすいところか。子どもが急に熱を出したりした時に休みがとれるか。(33 歳・フルタイム)
- ・母子ともに生活スタイルが変わるので、慣れるまで不安。発熱等で病児保育にも入れない時はどうしようか。いくつかのサポート機関を考えているが、実際に利用してみるまでは勝手も分からず不安。(31 歳・フルタイム)
- ・1 歳になったら保育園に預ける。小さいころから預けていいのか漠然と不安。(31 歳・フルタイム)
- ・子ども後追いが激しいが大丈夫か。保育園には入れなかったので実家に預ける。(31 歳・フルタイム)

～アンケートを実施して～

日頃の電話相談でも育休を取っているママが増えていると感じていました。今回アンケートで仕事の話を伺う中で、子育てをしながら仕事を続けるママたちが増加し、企業における育児支援制度も整いつつあると思いました。ただし、非正規労働では育休は保証されておらず、企業によって環境に大きな隔たりがあるようでした。そんな中でも、ママ自身が“制度があるから使って当然”と思っているのではなく、会社や職場の周囲の人たちに対して“迷惑をかけて申し訳ない”と感じている人が多いことがわかりました。また、上司の側も、時には厳しい発言をせざるを得ないこともあるのではないかと推察されます。お互いを気遣う気持ちが職場のコミュニケーションを円滑にするのではないのでしょうか。

上司の側もいつか自分の親の介護などで休暇や時短を利用する状況になるかもしれません。そのようなとき、気持ちよく育休を取れる職場が蓄積したスキルはきっと活かされ、よりよいワーク・ライフ・バランスが実現されるものと思います。

調査の概要

- 対 象 : 妊娠中仕事をしていたママ 109 人
- 調査方法 : 「エンゼル 110 番」に電話をしてきた方への聞き取り調査
「エンゼル 110 番」相談員によるアンケート
- 調 査 期 間 : 2015 年 9 月 29 日～10 月 26 日
- 対 象 者 の 属 性 : 「母親の年齢」20 代…23 人、30 代…71 人、40 代…14 人、不明…1 人
「属性」第 1 子…83 人、第 2 子以上…19 人、不明…7 人
「子どもの年齢」妊娠中…2 人、1 歳未満…65 人、1 歳…21 人、
2 歳…7 人、3 歳…5 人、4 歳以上…7 人、
不明…2 人
「就業形態」正社員(フルタイム)…92 人、契約・派遣社員…6 人、
パート…10 人、不明…1 名

エンゼル110番レポートのバックナンバー

第1号（93/4月）『離乳食』	第37号（02/9月）『テレビやビデオをどのように見せていますか』
第2号（93/7月）『初めての泊まりがけ旅行』	第38号（03/1月）『夫の育児参加と妻の満足度（その2）』
第3号（93/10月）『胎教』	第39号（03/4月）『子育てにインターネットを活用していますか？』
第4号（94/1月）『お年玉』	第40号（03/7月）『子育てコストとママの生活満足度』
第5号（94/5月）『夫の育児参加と妻の満足度』	第41号（03/12月）『ママたちの育児スタートー産後に望む支援サービス』
第6号（94/8月）『妊娠中の食事について』	第42号（04/4月）『子育てママの喫煙・禁煙』
第7号（94/11月）『育児雑誌を読みますか』	第43号（04/9月）『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
第8号（95/2月）『早期教育は必要ですか』	第44号（04/11月）『ママたちの産院選びと立会い出産の実態』
第9号（95/5月）『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか』	第45号（05/3月）『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか？』
第10号（95/8月）『どんな出産をしましたか』	第46号（05/7月）『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか？』
開設20周年記念冊子（96/10月）『60万件の電話相談から』	第47号（05/11月）『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか？』
第11号（95/11月）『子育て費用をどう考えますか』	第48号（06/4月）『子育てママの携帯電話活用法』
第12号（96/2月）『子どものこと夫婦で話していますか』	第49号（06/7月）『子ども連れて初めての泊りがけ旅行』
第13号（96/10月）『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』	第50号（06/11月）『子どもは何人ほしい？』
第14号（96/12月）『理想の父親像と母親像』	第51号（07/2月）『子どもに習い事をさせますか？』
第15号（97/4月）『子育て中のお母さんの自由時間』	第52号（07/8月）『「3歳児神話」をしていますか？』
第16号（97/6月）『子どもを預けたことはありますか』	第53号（08/1月）『子どもを預けたことはありますか？（その2）』
第17号（97/9月）『子育て中のストレス解消法』	第54号（08/4月）『「お母さんになった」など初めて感じたのは？』
第18号（97/12月）『かかりつけのお医者選び』	第55号（08/9月）『結婚前の料理経験はどれくらいですか？』
第19号（98/4月）『“格好いいお母さん”が当たり前？』	第56号（09/1月）『ここが困った！子連れ外出事情』
第20号（98/6月）『35歳からの子育て』	第57号（09/5月）『不況に負けない！ママの明るい節約術』
第21号（98/9月）『これからはママもパソコン使います』	第58号（09/9月）『孫育て』
第22号（98/12月）『35歳からの子育て パートⅡ』	第59号（09/11月）『ママ友とのおつきあい、どうしてますか？』
第23号（99/3月）『実家とどうつきあっていますか』	第60号（10/5月）『夕飯の献立どうやって考えていますか？』
第24号（99/6月）『子どものアレルギーについて』	第61号（10/8月）『子育て支援で、本当にしてほしいことは？』
第25号（99/9月）『子ども連れのお母さんが見た街作り』	第62号（10/11月）『パパはイクメンですか？』
第26号（99/12月）『子育てが楽しいと感じる時』	第63号（11/2月）『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
第27号（2000/3月）『離乳食は得意ですか』	第64号（11/5月）『育児日記をつけていますか？』
第28号（00/6月）『子育て仲間はどこで見つけましたか？』	第65号（11/9月）『ママたちの節電対策』
第29号（00/9月）『子連れで海外旅行に行きましたか？』	第66号（12/1月）『今、大切にしたいもの』
開設25周年記念冊子（00/10月）『医療関係者向アドバイスブック』	第67号（12/6月）『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
第30号（00/12月）『私たちのミレニウム・ベビー』	第68号（12/11月）『子育てママのお正月』
第31号（01/3月）『ママたちのIT革命』	第69号（13/3月）『名づけ』
第32号（01/6月）『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか？』	第70号（14/5月）『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか？』
第33号（01/9月）『妊娠してからの食生活の変化』	第71号（14/12月）『母乳への意識』
第34号（01/12月）『絵本の読み聞かせをしていますか』	第72号（15/4月）『現代のママ事情』
第35号（02/3月）『育児日記をつけてますか』	第73号（15/7月）『「食べない子」「食べすぎる子」のママの悩み』
第36号（02/6月）『ママたちの再就職事情』	第74号（15/9月）『子育てしやすい街の条件』